

紙ぶるる Ver.3.4

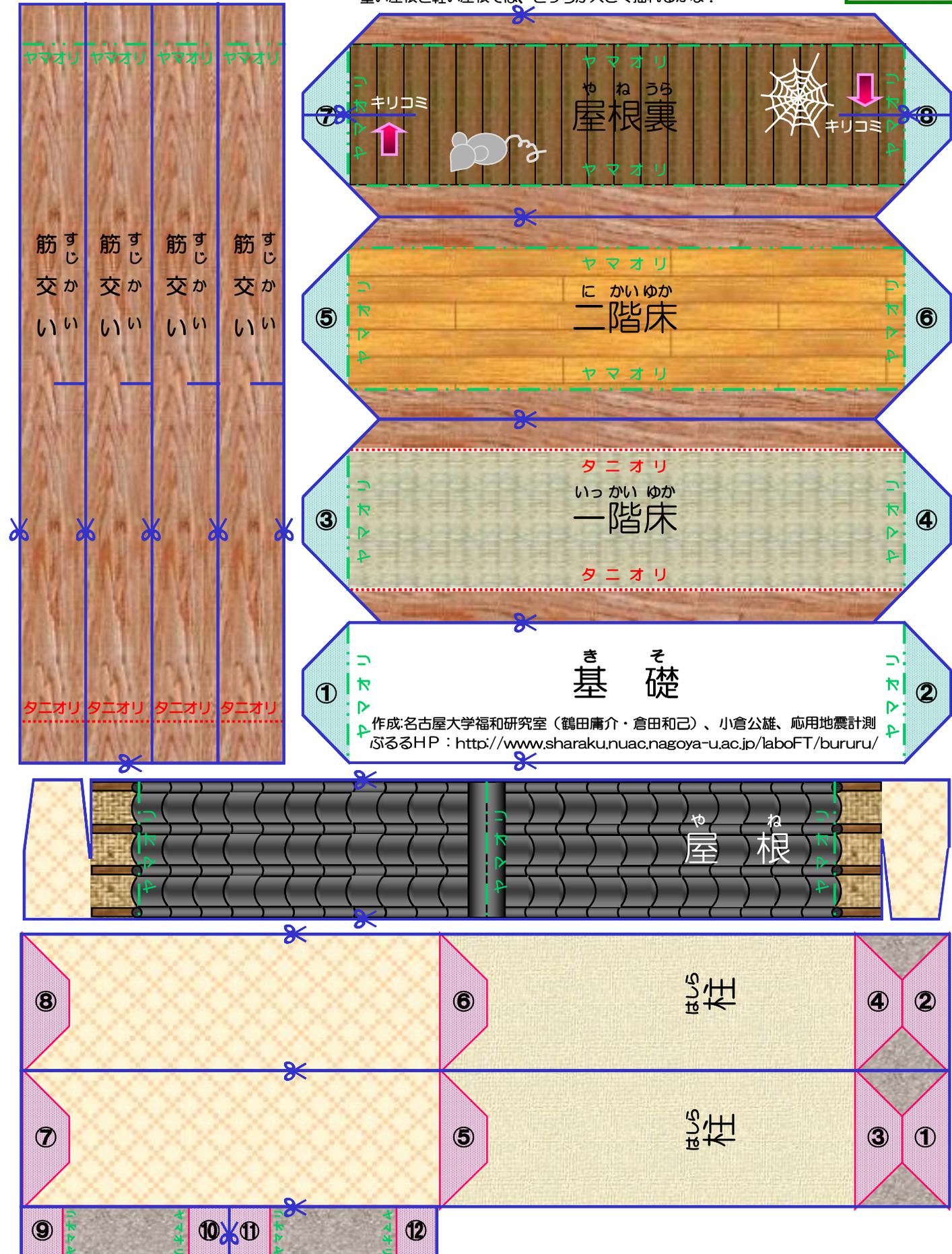
★組み立て方★

- 1: のところに両面テープを貼る
- 2: 全ての を切り離す。切込み も忘れずに!
- 3: はやまおり、 はたにおりに折る
- 4: 同じ数字同士、①から順番にはり合わせる

★さあ、実際に筋交いの力を体感してみよう★

★使い方★ 基礎の上に指を乗せ、紙ぶるるを左右に揺すってみよう。筋交いを1階と2階の両方に入れたり、2階だけに入れたりしてその時の紙ぶるるの揺れ方の違いを見てみよう。
 (筋交いが外れやすい場合は、両面テープで軽く止める)
 どんな時に建物が大きく揺れるかな?
 「屋根」裏面のマークの位置にクリップをつけて屋根を重くしてみよう。
 重い屋根と軽い屋根では、どちらが大きく揺れるかな?

完成図



作成:名古屋大学福和研究室(鶴田庸介・倉田和己)、小倉公雄、応用地震計測
 ぶるるHP: <http://www.sharaku.nuac.nagoya-u.ac.jp/laboFT/bururu/>



《応用編》 2セット分を組み合わせて4階建模型を作ることができます（左側完成図参照）

☆組み立て方☆

- 1：1、2階部分に充てる方は屋根以外の基礎～屋根裏部分、3、4階部分に充てる方は基礎と1階床以外の部分を組み立てる。
- 2：3、4階部分の柱の①～④に両面テープを貼り、柱外側の黄色の太線と屋根裏とが同じ高さとなるよう貼り合わせれば完成。

☆使い方☆

まず筋交いなしで揺すってみよう。2階建の時と比べ揺れ幅や周期(1往復揺れるのに要する時間)がどう変わるか見てみよう。次に、筋交いをいろいろな階に入れて揺らしてみよう。例えば、全部の階に入れた場合とある階を抜かした場合とでは、揺れ方はどう変わるかな。

